

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会にゅ〜す♪

2010年8月4日発行 No.16

8月24日は 薬害根絶デーです！！

25日の薬害イレッサ訴訟結審を前に、 大勢の参加者で盛り上げましょう♪♪

今年のテーマは！

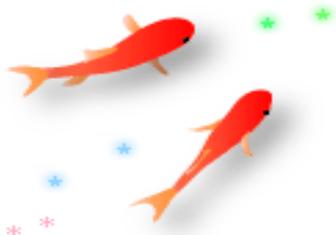
☆薬害イレッサを解決して、薬害の連鎖を断ち切ろう！

安全性は人の命を守るためになくてはならない薬の条件です。イレッサという薬が裁判にまでなった理由はそこにあります。

☆薬事行政を監視する第三者機関を実現させよう！

薬が利潤追求だけの商品にならないよう、まともに試験され、まともに評価され、真実がまともに伝わるように

☆☆多くの皆さんの参加お願いします☆☆



《薬害根絶デー1日の流れ》

11:45～12:50 厚労省前リレートーク
薬害被害者、その支援者が被害の実態と二度と薬害を繰り返さないという思いを、リレーでつなぎながら呼びかけます。

13:00～13:15 厚労省前庭・碑の前行動
1999年のこの日に建立された「誓いの碑」の前で、厚労大臣にその誓いを確認させます。

13:30～14:00 パレード
距離は短いけれどみんなで元気に練りだしましょう。

15:00～17:00 集会（弁護士会館2階クレオ）
民医連からは北海道、大阪、そしてわれら東京から薬害根絶の取り組みを発表します。

17:30～18:30 有楽町街頭宣伝行動
今日は「薬害根絶デー」と街行く人に呼びかけましょう。

♥♥そして交流会ですよ！

◎6/5 薬害オンブズパーソン会議 シンポジウム感想◎

☆EBM を実践しようにも、出版バイアスでメーカーに不利な情報は論文が雑誌に掲載されない。病気啓発 CM などの形による、消費者・患者への直接的な情報提供が治療をゆがめている。薬害を二度と起こさないために、企業のマーケティングを規制する方策を考えないといけないと思った。

☆本当のことはいつも知らされていない。それを忘れてしまうことは相手の手のひらの上の仮想社会で生きることになる。薬の業界の引っ張ろうとする力に抗して反対に引っ張り続けることが、自らの生きる道になる。

☆胎児に危険とわかっても薬の販売キャンペーンを製薬企業はやるんだ、という実態。若い人にもっと知ってほしい。

☆薬害は起こらない方がいい。しかし、利潤追求と患者優先の双方が両立していない現実の社会では、根絶を願っても薬害は起こるだろう。利益追求の社会ルールをどう防くかを考えるのがいまの対策かなと思う。

☆人間の心身が成長していく過程での自然な反応、『不安』、『恥ずかしがりや』、『妊娠期の抑うつ』、などを“精神疾患化”していくメーカーの“企業努力”は非常に狡猾で社会の感覚を麻痺させている。治療における“根拠”そのものがデータ隠蔽により歪められ、現場の人間は、その“根拠”に従うか、“何も信用できない”状況のどちらかにある。

☆幸福・豊かさの意義を国民が人類という視点で追及していけたら、平和で、発展的な世の中になるかな。薬の世界は他の医療行為以上に経済と密接につながっているから、ここが変わることは意義あることだと思う

☆署名のお願い☆

『抗がん剤副作用死亡と医薬品副作用による胎児死亡について 被害救済制度の創立を求める請願』にご協力ください♪

♥署名用紙送ります。

このニュースを読んでもくれること、その内容を身近な人に伝えてくれることが薬害根絶の大きな力になっています。

